

令和8年度青森県地球温暖化対策推進計画に係る主な取組

令和8年度青森県地球温暖化対策推進協議会

本県の脱炭素政策の3つの柱



地域づくり
×
脱炭素



くらし
×
脱炭素



産業
×
脱炭素

脱炭素政策を通じて地域・くらし・産業を豊かにする



県内市町村に対する政策支援

「あおもり地域脱炭素支援チーム」の派遣 (エネルギー・脱炭素政策課)

2050年カーボンニュートラルに向けて、地域課題を解決し、地方創生と脱炭素を同時実現する「地域脱炭素」に向けた取組が求められている中で、青森県内の市町村における取組を支援するため、設置したもの。(令和6年度より設置)



具体的な支援としては・・

- ☑温室効果ガスの排出状況、削減目標の設定支援
- ☑再エネ導入ポテンシャルの把握の支援
- ☑公共施設の省エネ・再エネ導入支援
- ☑地球温暖化対策実行計画(複数市町村での共同策定含む)の策定支援
- ☑温対法による再エネ促進区域の設定支援
- ☑自治体における地域脱炭素促進事業の企画立案・実行支援
- ☑補助金等、支援制度の申請サポート
- ☑脱炭素に関するセミナー・勉強会・検討会の企画運営など

市町村の求めに応じて派遣

「あおもり地域脱炭素支援チーム 名簿（令和8年4月1日現在）」

区分	氏名	役職	備考
専 門 家	藤野 純一	（公財）地球環境戦略研究 上席研究員	チーム長
	重 浩一郎	八戸工業高等専門学校 准教授	副チーム長
	豊田 陽介	コー・イノベーション大学 教授	
	延藤 裕之	NPO法人 気候ネットワーク 主任研究員	
支 援 機 関	申谷 雄太	カーボンフリーネットワーク（株） 代表取締役	計画策定支援業務実績あり
	佐々木 秀智	NPO法人 C R O S S 事務局長	省エネお助け隊 など
	工藤 浩栄	あおもり創生パートナーズ（株）シニアコンサルタント	県内唯一の金融系シンクタンク
	三浦 麻子	青森県地球温暖化防止活動センター 事務局長	
	宮地 智弘	インヴェルデ（株）COO・リサーチディレクター	
	駒井 裕民	（株）建築住宅センター 代表取締役社長	
国		環境省 東北地方環境事務所 地域脱炭素創生室	
事務局		青森県 環境エネルギー部 エネルギー・脱炭素政策課	



今年度の主な活動

ひろさきゼロカーボンシティ協議会での講演（7月3日）、市町村説明会・情報交換（7月17日。右上写真）など。⇒今後も市町村のニーズに応じて派遣

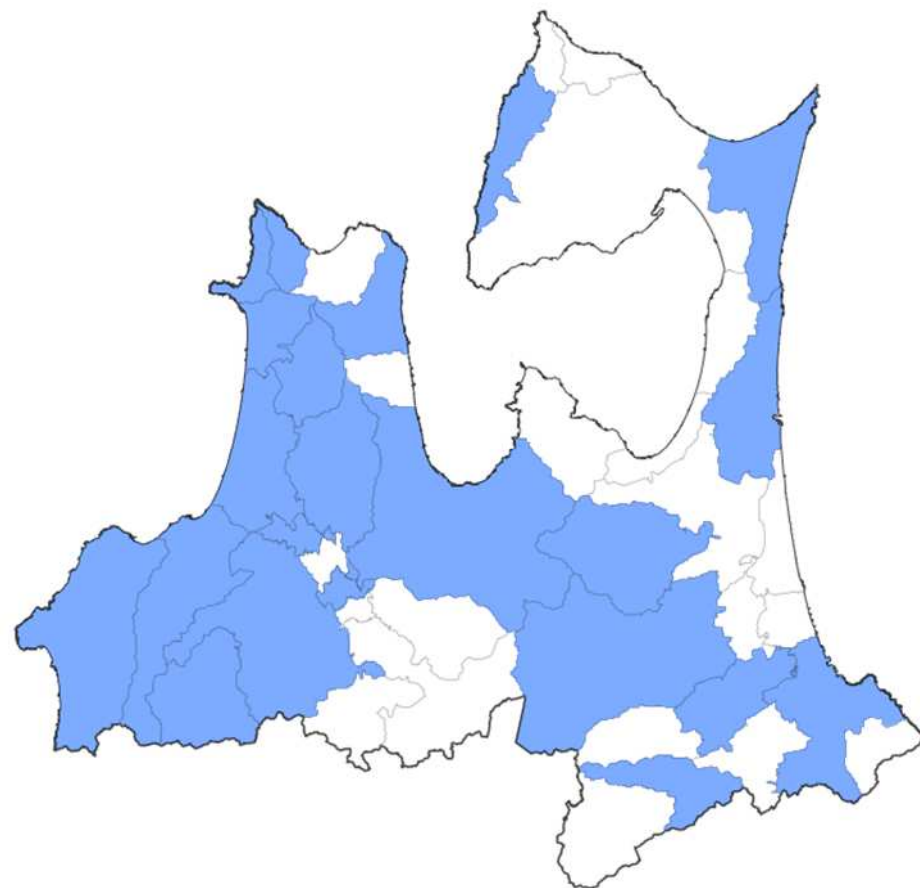
【参考】県内市町村の「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」策定状況

県内 **40**市町村中、**20**市町村が策定済み
(昨年度の協議会開催時より **3**市町村増加)

策定済み

青森市、弘前市、八戸市、五所川原市、
十和田市、三戸町、七戸町、中泊町、
外ヶ浜町、藤崎町、鶴田町、東北町、五戸町、
西目屋村、六ヶ所村、佐井村、東通村、
つがる市・鱒ヶ沢町・深浦町(3市町共同策定)

※令和8年度策定予定（むつ市、平川市）
令和9年度策定予定（横浜町）



環境教育の実施（エネルギー・脱炭素推進課）

環境出前講座

小学生が環境について楽しく学ぶことができるよう、
地球温暖化防止活動推進員（あおもりアースレンジャー）の
派遣活動として出前講座を開催

【プログラム】

- ・どっちかな？ゲーム（ごみ減量の2択クイズ：低学年向け）
- ・買い物ゲーム（環境を意識した買い物体験：中学年向け）
- ・省エネゲーム（省エネを意識したライフスタイル：高学年向け）

令和8年度は、**県内約35校で、のべ90回**
以上の講座開催を予定しています。

- ・青森地域 20回
- ・津軽地域 41回
- ・八戸地域 30回





- ① 住宅向け太陽光発電設備の導入促進
- ② 高断熱・高気密住宅の普及促進

脱炭素×暮らし 取組方針

脱炭素の取組を通じて、**県民の皆さまの暮らし**を豊かにする

徹底した省エネ対策

- 高断熱・高気密住宅
- 省エネ家電の導入
- 家電製品の使い方の見直し



再生可能エネルギーの導入

- 太陽光発電設備の導入
- バイオマス(薪ストーブなど)の活用



光熱費の削減

快適な暮らし

病気リスクの低減

レジリエンス強化

CO2排出削減

生活の質向上

医療費の削減

建物の価値向上

住宅用自家消費型太陽光発電設備等導入支援事業費 補助金 (エネルギー・脱炭素政策課)

補助対象者

実施市町村(次スライドに掲載)内の住宅に太陽光発電設備等を設置する者
※市町村税に滞納がないこと等を条件に補助金を交付します

(1)太陽光発電設備 (太陽光パネル・パワーコンディショナー等)

○対象設備

住宅の屋根に設置されるもので、以下の要件を満たすもの

- ・FIT(固定価格買取制度)またはFIPの認定を取得しないこと
- ・ソーラーカーポートではないこと
- ・発電量のうち、30%以上を自家消費すること

○補助金額

5万円/kW(上限25万円)

(2)蓄電池

○対象設備

左記「太陽光発電設備」の付帯設備であって、住宅に設置されるもの

※蓄電池のみの設置は対象外です！

○補助金額

- ・蓄電池価格(円/kWh)の1/3
- ・蓄電池価格14.1万円/kWh
(工事費込み・税抜)の1/3

上記のいずれか小さい方の金額(上限35万円)

実施市町村、募集状況(令和8年7月31日現在)

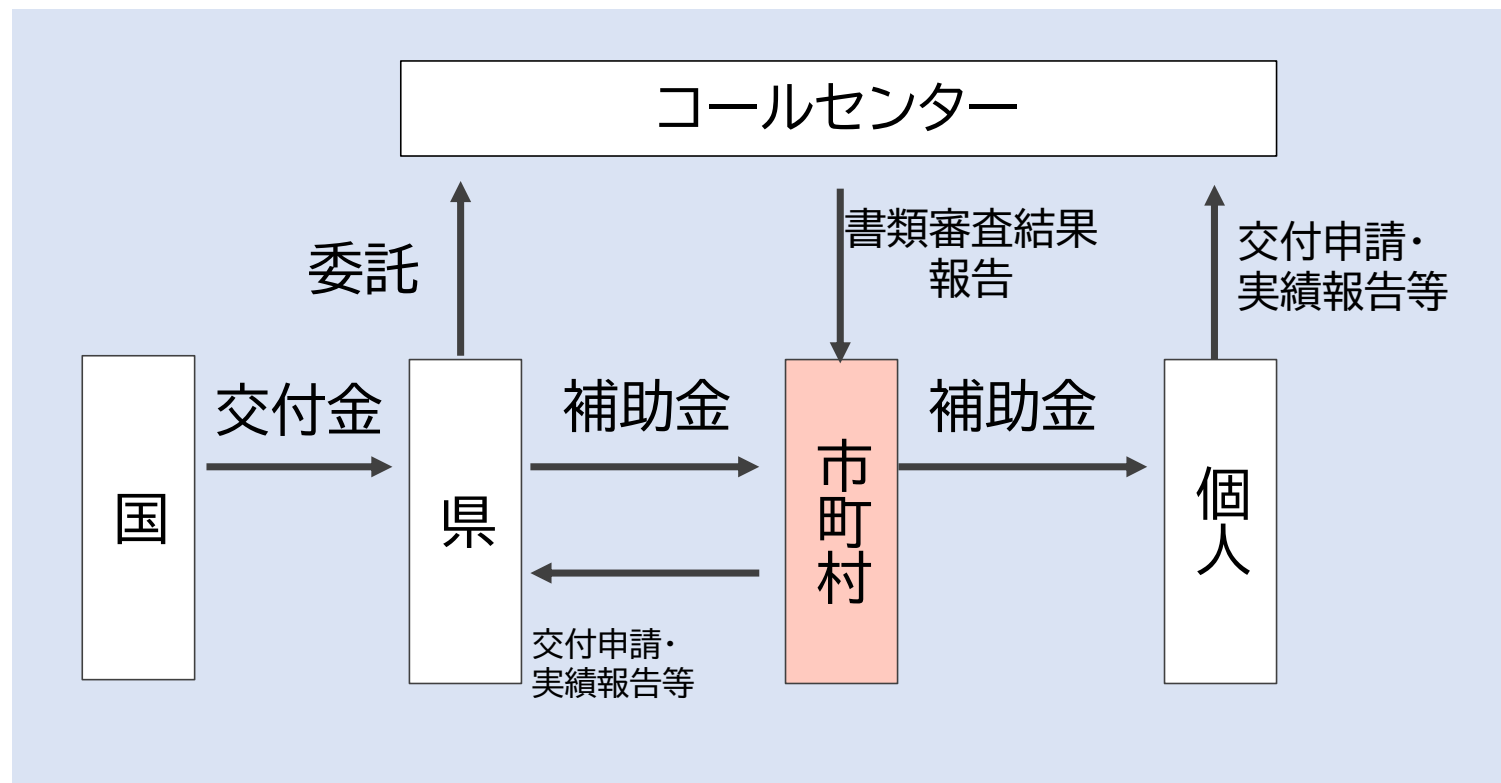
- ・ 令和8年度は23市町村で実施(計200件)
- ・ 申請受付は市町村ごとに先着順で行い、予算額に達した時点で募集を終了します

市町村名	募集状況	申請方法
青森市	● 募集中	申請フォーム
弘前市	● 募集中	郵送/申請フォーム
八戸市	● 募集中	郵送/申請フォーム
五所川原市	● 募集中	郵送/申請フォーム
十和田市	× 受付終了	
むつ市	● 募集中	郵送/申請フォーム
つがる市	● 募集中	郵送/申請フォーム
平内町	● 募集中	郵送/申請フォーム
外ヶ浜町	● 募集中	郵送/申請フォーム
藤崎町	● 募集中	郵送/申請フォーム
大鰐町	● 募集中	郵送/申請フォーム
板柳町	● 募集中	郵送/申請フォーム

市町村名	募集状況	申請方法
鶴田町	● 募集中	郵送/申請フォーム
中泊町	● 募集中	郵送/申請フォーム
七戸町	● 募集中	郵送/申請フォーム
六戸町	× 受付終了	
東北町		郵送/申請フォーム
六ヶ所村	－ 募集前	
東通村	－ 募集前	
三戸町	● 募集中	郵送/申請フォーム
五戸町	● 募集中	郵送/申請フォーム
南部町	● 募集中	郵送/申請フォーム
階上町	● 募集中	郵送/申請フォーム

補助スキーム

R8~11年度



申請先・お問い合わせ先

青森県太陽光蓄電池補助金事務局(コールセンター)



URL <https://aomori-taiyoko.pref.aomori.lg.jp/>

☎ 0178-51-8251

✉ aomori-pvbt@carbonfrees.co.jp

受付時間 平日10時～17時(令和8年12月29日～令和9年1月3日を除く)

郵送先 ※郵送による申請を行う場合

〒039-1104

青森県八戸市田面木船場道下7番2号

NPO法人CROSS 青森県太陽光蓄電池補助金 住宅用事務局宛

【参考】令和7年度事業実績

1. 補助事業実施期間
令和7年11月11日～令和8年2月27日
2. 補助申請期間
令和7年11月11日～令和7年12月28日(先着順)
3. 補助対象者
青森県内の住宅に太陽光発電設備を設置する個人(PPA・リースは除く)
4. 補助対象
自家消費型(FIT認定を受けない)太陽光発電設備及びそれに付帯する蓄電池
5. 補助金額
太陽光発電設備:5万円/kW(上限25万円)
蓄電池 :蓄電池価格の1/3(上限35万円)

補助金執行額 **25,992**千円/30,000千円

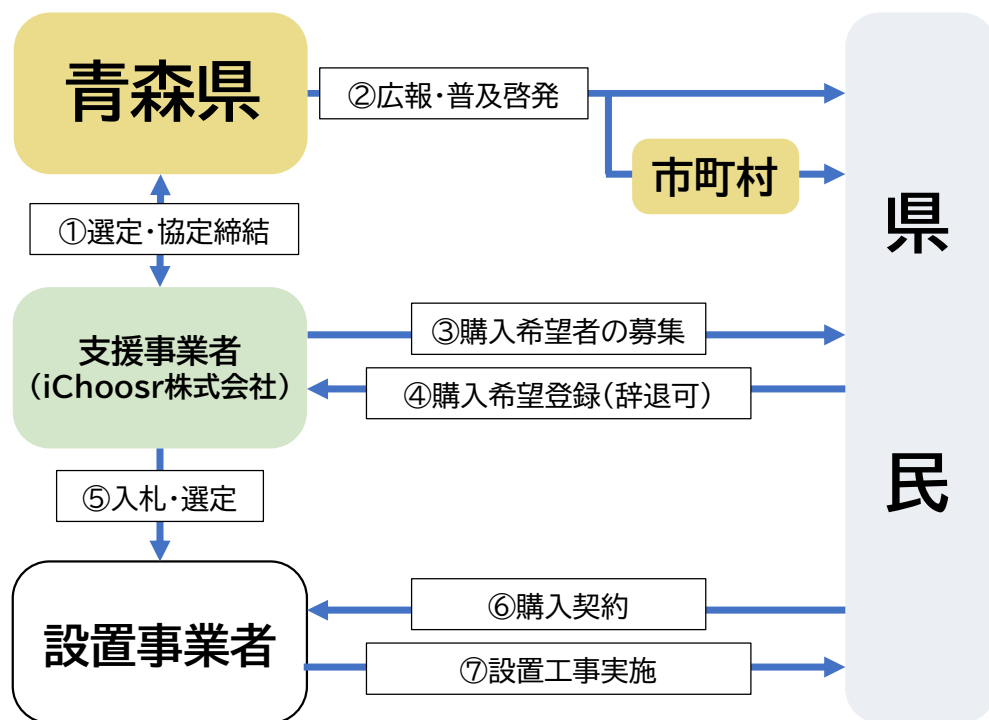
各市町村ごとの実績件数

市町村名	実績件数
八戸市	12
弘前市	8
青森市	5
十和田市	5
五所川原市	4
三沢市	2
五戸町	2
黒石市	1
つがる市	1
平川市	1
鰺ヶ沢町	1
藤崎町	1
板柳町	1
鶴田町	1
中泊町	1
東通村	1
南部町	1
合計	48

住宅用太陽光発電設備等共同購入事業（エネルギー・脱炭素政策課）

県では、支援事業者と協力協定を締結し、住宅の屋根等への太陽光発電設備等の購入を希望する県民を募り、**スケールメリット**を生かした価格低減を促進し、太陽光発電設備等の普及拡大を図っています。

共同購入事業のスキーム



県の役割

- ・ 支援事業者との協定締結
- ・ 広報誌等を活用した広報活動
- ・ 市町村への広報協力依頼

(参考)令和8年度 太陽光パネル+蓄電池の場合



青森県では
市場価格から**33.6%OFF**

※太陽光パネル6.3kW+蓄電池10kWの一例

住宅用太陽光発電設備等共同購入事業（エネルギー・脱炭素政策課）

参加登録期間

令和8年4月14日(火) ～令和8年12月3日(木)

登録は3分！
わかる範囲でOK！

参加登録から設置までの流れ



住宅用太陽光発電設備等共同購入事業（エネルギー・脱炭素政策課）

令和7年度の実績（取組初年度）

参加登録期間

令和7年4月2日（水）
～令和7年8月27日（水）

参加登録件数 655件

契約件数 40件

項目			2025
参加登録期間	期間		4/2～8/27
	日数		147
登録者数等	① 太陽光パネル	参加登録者数	61
		事前見積承諾数	24
		契約済数	3
	② 太陽光パネル ＋蓄電池	参加登録者数	422
		事前見積承諾数	125
		契約済数	26
	③ 蓄電池	参加登録者数	172
		事前見積承諾数	55
		契約済数	11
	合計	参加登録者数	655
		事前見積承諾数	204
		契約済数	40

住宅用太陽光発電設備等共同購入事業（エネルギー・脱炭素政策課）

まずは、専用ウェブサイトで内容をご確認ください！

URL:<https://switchtogether.jp/solar-and-battery/aomori>

青森県 みんなのおうちに太陽光

検索

<お電話はこちら>

青森県 みんなのおうちに太陽光 事務局

電話番号:0120-723-100

受付時間:10時から18時まで(土・日・祝除く)

みんなのおうちに太陽光 青森県

太陽光パネル 蓄電池

つくる、ためる、つかう。
共同購入で賢く導入、家計を助けるエコライフ。

131,000円 2026年12/3まで

みんなのおうちに太陽光で、価格と安心のバランスを！

スケールメリットを活かしたおトクな価格

事務局による厳格な審査で製品・施工の品質確保

共同購入のおトクな割引率で購入いただけます

市場価格	太陽光パネル共同購入価格
約168万円	約119万円 29.4%OFF

お住まいの自治体等の補助金も利用できる場合がございます。

青森県民の皆さまへ

青森県では、2050年カーボンニュートラル(温室効果ガス排出実質ゼロ)の実現に向けて、住宅用太陽光パネル・蓄電池の共同購入事業をスタートさせました。購入を希望する県民の皆様の皆様を多数募ることで、スケールメリットを生かし、よりお得に設備を購入することができます。この機会に、地球にやさしく、電気代の節約が期待できる太陽光パネル等のご自宅への設置を、ぜひご検討下さい。

青森県知事 宮下 宗一郎

高断熱・高気密住宅の普及促進（建築住宅課）

「あおりリビングスタイルガイドライン」
を策定し、青森独自の省エネ住宅基準を設定
→「あおりGX住宅」

新築基準

断熱性能

等級 6 以上

省エネ性能
一次エネルギー消費削減率

30%以上

気密性能
C値

0.7cm/m²以下

全体・部分断熱改修基準

断熱性能

等級 5 以上

省エネ性能
一次エネルギー消費削減率

20%以上

気密性能
C値

2.0cm/m²以下



高断熱・高気密住宅の普及促進（建築住宅課）

地元工務店等を対象としたセミナーを開催



あおもり
GX住宅
ビルダーズ

住まいのセミナー
あおもりで
北の技術を学ぶ

北海道の先進事例から学ぶ 断熱設計と施工のリアル

住宅の高性能化が求められる今、
設計・施工・行政の連携による実践事例が注目されています。
本セミナーでは、北海道で取り組まれている先進事例をもとに、
断熱設計や施工の実情、プロジェクトのリアルな背景まで解説します。
机上の知識ではなく、現場で生かせるヒントを
持ち帰っていただける内容です。

DATE 6月4日(水) 13:30～16:00(開場 13:00)

VENUE アビオあおもり イベントホール 2F(青森市中央3丁目17-1)

FEE 無料

参加をご希望の方は、右のQRコードからお申し込みください。
申し込み締切：6月3日(水)



こんな方におすすめ！

- ・寒冷地住宅の実務的な設計・施工の考え方を学びたい方
- ・B19の知識を通じて、高性能住宅建築に加え、接客・接客にも生かしたい方
- ・地元ビルダーによるまちづくりやプロジェクト事例を具体的に知りたい方

開催日

2025
6/4
THU



本セミナーの内容は一部変更となる場合があります。
お急ぎの方によるキャンセル(予定変更)は、開催日の前日までに行ってください。
本セミナー終了後、アンケートを実施させていただきます。ご協力をお願いします。

タイムテーブル

13:10～ 青森県からのお知らせ

13:30～13:35 開会・挨拶

13:35～13:50 第1部
北海道の住宅施策と取り組み
講師：北海道建設部 建築指導課 企画係長 渡辺 隆太 氏

13:50～15:10 第2部
BISによる断熱設計と施工
講師：一級建築士・建設技師 山本 聖祐 氏

15:10～15:25 休憩

15:25～15:55 第3部
プロジェクトのリアル共有
テーマ：地元企業との連携とまちづくりの可能性
講師：北海道建設部 建築指導課 企画係長 渡辺 隆太 氏(9:15)

15:55～16:00 まとめ・閉会(5分)



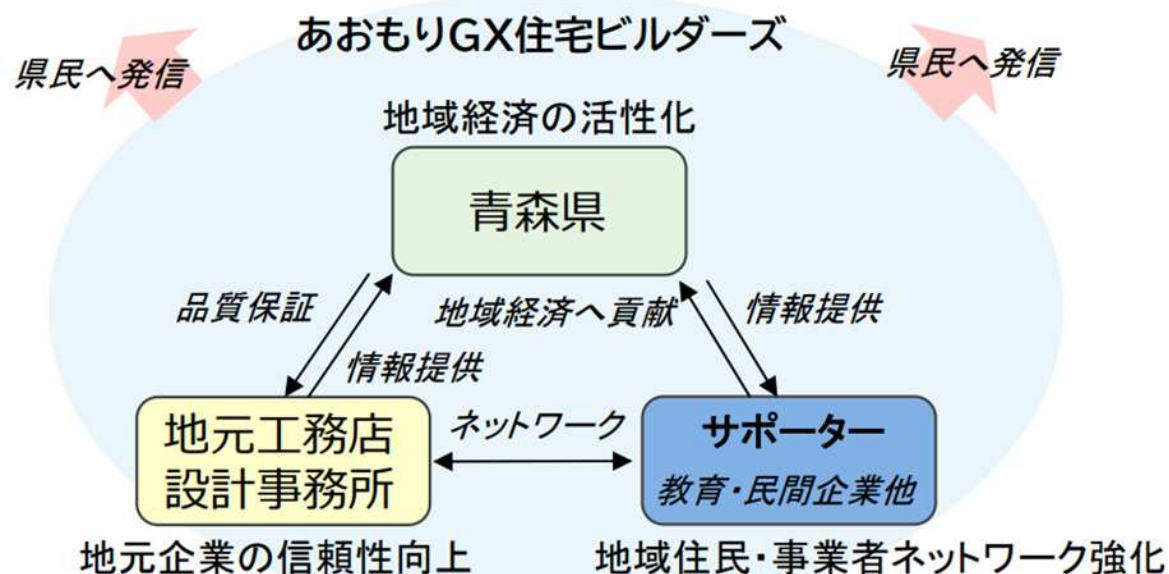
山本 聖祐 氏
(株)山本建設設計事務所 代表取締役
(一級)北海道建設技師協会 理事
050-47

お問い合わせ先
青森県県土整備部 建築住宅課 住宅企画グループ
TEL.017-734-9695

主催：青森県

高断熱・高気密住宅の普及促進に向けたプラットフォーム (建築住宅課)

あおもりGX住宅ビルダーズ



「あおもりGX住宅」の普及を目指すために、青森県で住宅の設計・施工実績や一定の知識を有し、各地域で積極的に住まいづくりに取り組んでいる企業等を募集・公表しながら、官民で連携活動をしている。ビルダーズ参加者は計100社以上。





- 1 県内企業・金融機関向けセミナー
- 2 中小企業 G X 推進事業

脱炭素・GX経営の進め方

①知る

基礎知識の取得

脱炭素経営に必要な知識を取得する。

②測る

CO₂排出量の算定

自社のCO₂排出量を算定する。

③減らす

削減計画の策定

自社のCO₂排出源の特徴を踏まえ、削減対策を検討し、削減計画を策定する。

削減対策の実行

設備投資や運用改善などによる削減対策を実行する。

④ビジネスに生かす

グリーン成長戦略 関連産業参入

脱炭素化の対応を成長の機会と捉え、グリーン成長戦略関連産業への参入をめざす。

県内企業・金融機関向けセミナーの開催（エネルギー・脱炭素政策課）

2050年カーボンニュートラルに向けた取組を、地域で主体的に進めていくためには、自治体のみならず、県内企業・地域金融機関等においても、コーディネート人材や、専門人材の育成が不可欠。

県内企業・金融機関を対象としたセミナーを開催し、ESG金融や脱炭素経営に関する最新動向などについて、情報提供を行うとともに、県内企業・金融機関同士の交流機会を創出する。

実施時期：年度内に実施



地域企業支援課と連携しながら、県内企業の脱炭素経営を促進

中小企業等グリーントランスフォーメーション（GX）推進事業 （地域企業支援課）

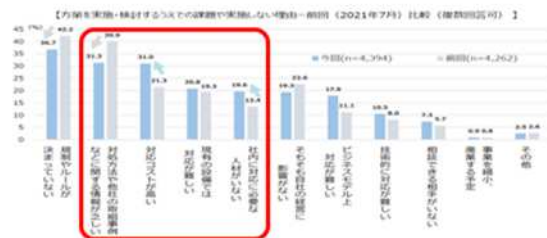
担当：経済産業部 地域企業支援課 中小企業支援G（3653）

中小企業等グリーントランスフォーメーション(GX)推進事業 R7.2月補正 26,809千円 R8 141,995千円

事業の目指す姿(アウトカム)

現状 → 事業終了の姿

- ①世界的に脱炭素の機運が高まる中、国内外の企業がカーボンニュートラル実現を表明しており、本県においても、GX青森の推進に向けて、県内中小企業を含めた取組が広がっている。
- ②一方で、多くの中小企業は実際にGXを進める上で、「対応方法等の情報が乏しい」「新規の設備投資をする場合には対応コストが大きい」「社内に対応できる人材がいない」「中堅・中小企業が有する技術シーズの活用が見えない」といった課題を感じている。



→GX青森の実現に向け、GX関連産業への参入及び脱炭素経営の推進により県内中小企業の付加価値額を高め、**労働生産性の向上を目指す。**
(2020年 6,871千円→年1.5%増加)

課題

- ①GX関連産業への参入に向け、関連分野における理解促進や情報共有・マッチングの機会が不足
- ②県内中小企業が脱炭素経営に取り組む上で、対応コストが高く、企業価値向上に向けた手順が見えづらい

GX実現に向けた企業価値・競争力の強化が必要

目指す姿を実現するための取組(アウトプット)

GX青森の推進を大きなビジネスチャンスとして捉え、県内中小企業においてもGX関連産業への参入や脱炭素化の取組を通じて経営基盤の強化に取り組み、企業価値・競争力の向上を図る。

取組1 GX関連産業参入支援 26,809千円

- (1) GX関連産業参入に向けたマッチング機会の創出(26,809千円)【新規】
 - ・GX関連産業参入に向けて経営面・技術面双方から助言を行う「GX推進アドバイザー」を設置するとともに、県内中小企業及び大学・研究機関等有するニーズ・シーズをつなぐ場として「GXビジネスネットワーク」を形成し、参入に関する研修会や分野別研究会を開催するなど、企業間や学術機関との協働を通じてGX関連産業の活性化を図る。
- (2) GX革新的技術等創出事業費補助に連携枠を新設(ゼロ予算)
 - ・大学や研究機関等と連携して新たな事業化に取り組む県内企業の補助上限額を引き上げる。
【R7:補助上限額10,000千円→R8:補助上限額20,000千円の連携枠を新設】

取組2 脱炭素経営の推進支援 141,995千円

- (1) 脱炭素化・カーボンニュートラル関連設備導入経費への補助(38,043千円)
 - ・脱炭素化と生産性向上の両立に資する設備の導入経費の一部を補助する。
【補助率:1/2、補助上限額:5,000千円】
- (2) 自家消費型太陽光発電設備等導入経費への補助(100,176千円)
 - ・県内事業者に対し、太陽光発電設備及び蓄電池の導入経費の一部を補助する。
 - ① 太陽光発電設備【補助額:50千円/kW、補助上限:5,000千円、補助件数:20件】
 - ② ①に付帯する蓄電池【補助率:3分の1、補助上限:5,300千円、補助件数:20件】
- (3) 脱炭素経営実践企業競争力強化プログラム(3,776千円)【新規】
 - ・県内中小企業の経営者層等を対象に、脱炭素経営の実践的スキルを提供する脱炭素スクールを開講し、あわせて脱炭素経営を踏まえた採用力向上のノウハウをワークショップで提供することで、企業価値・競争力の向上を支援する。
 - ①脱炭素スクール: 座学及び課題解決演習を通じて、従業員の主体的な参加のもと、全社一体となって、計画的に脱炭素経営に取り組む手法を学ぶ。
 - ②採用力向上: 採用における脱炭素経営の重要性について企業と大学生がワークショップをワークショップ 実施し、その意見を踏まえ、参加企業が採用PRを検討し実践する。

GX関係産業参入支援 (地域企業支援課)

G X アドバイザー派遣

GXに向けて経営戦略の策定等に向けた関する助言を行うアドバイザーを設置・派遣（7年度は25者に派遣）

(青森県委託事業)

令和8年度中小企業等GX推進支援事業

派遣費用
無料!!

GX推進アドバイザー派遣のご案内

工業会では県内中小企業者のグリーン転換（GX）を推進し、脱炭素化の取り組みを通じて経営基盤の強化に取り組み、企業価値や競争力の向上が図れるよう、「GX推進アドバイザー」を派遣し、GX関連技術の掘り起こしから、大学等の技術シーズとのマッチングや、GX経営戦略の策定等を支援します。

「消費電力が抑えられる先端設備導入について相談したい」、「取引先よりCO2削減が求められているが、何をすればよいのか」などGXについてのご相談がありましたら、本事業をご活用ください。

◆支援対象	県内に本社又は事業所を有し、GXに関心がある中小企業者
◆支援内容	・GX関連技術に関する企業ニーズの掘り起こし、大学等の技術シーズとのマッチング ・温室効果ガス排出量の見える化 ・脱炭素化に向けた課題の抽出 ・GXへの中長期的な目標の設定 ・目標達成に向けた実行計画の作成（運用改善、設備投資等） ・実行計画を踏まえたGX経営戦略策定に関する助言 など
◆申込締切	令和9年2月26日（金）【派遣期間：令和9年3月10日（水）まで】
◆申込方法	裏面の派遣申込書に必要事項を記入のうえ、工業会へ送付してください
◆派遣までの流れ	派遣申込書を工業会へ送付 審査 派遣決定 派遣日等の調整 アドバイザー派遣

[GX推進アドバイザーの紹介]



おかもやま 透 博士（工学）
元（地独）青森県産業技術センター八戸工業研究所所長

長年、県試験研究機関にて企業との共同研究を通じ、「ものづくり」に関する技術移転や支援に取り組み、産業振興に貢献。電気・電子・情報技術から機械システム設計・試作・評価まで幅広い専門知識を有し、人工知能の活用においては20年以上の経験があり、自動化技術や省人、省工能化支援を行っている。

専門分野：システム工学、無線技術、プロダクトデザイン、データマイニング

◆ 令和8年度青森県脱炭素化・カーボンニュートラル関連設備導入支援事業補助金及び、事業用自家消費型太陽光発電設備等導入支援事業補助金の申込みにあたっては、GX推進アドバイザーによるGX経営戦略の策定支援を受ける事で要件の2つを満たすことができます。※補助金の詳細は工業会及び青森県のHPをご覧ください。

お問合せ・申込先：一般社団法人青森県工業会 事務局
〒030-0801 青森市新町2丁目8-26 県火災あおりビル5階
TEL：017-718-5399 FAX：017-723-1243
E-mail：system@aia-aomori.or.jp
申込書はこちらからダウンロードできます⇒ <https://www.aia-aomori.or.jp/3023.html>

G X ビジネスネットワーク会員企業募集

青森県 GXビジネスネットワーク 会員企業募集!

入会
無料

GXビジネスネットワークは、GX関連産業に関する情報共有、県内企業及び大学・研究機関等が有する技術・ノウハウ等のニーズ・シーズをつなぐマッチング機会の創出、会員によるネットワークの形成を通じて、県内中小企業のGX関連産業への参入促進を目指すネットワークです。

参加すると、こんなメリットがあります



役立つ情報が届く!
補助金など、事業に役立つ支援情報が受け取れます



学べる・つながる!
GX分野の最新動向が学べる研修会・研究会に参加できます



チャンスが広がる!
企業や大学・研究機関とのマッチングで新たなビジネス機会が広がります

県が参入を推進する分野



申込方法

(1) インターネットでのお申込み

以下のURL又は二次元バーコードから申込フォームにアクセスし、必要事項を入力の上、お申込みください。
https://apply.e-tumo.jp/pref-aomori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=22086



(2) メールでのお申込み

メールタイトル（件名）に「GXビジネスネットワーク参加申込」と入力し、メール本文に、必要事項（①企業名（事業所名）、②業種、③企業所在地、④担当者名、⑤電話番号、⑥メールアドレス、⑦関心のある分野、⑧参加公表の可否）を入力の上、kigyoshien@pref.aomori.lg.jp まで送信してください。

【問い合わせ先】青森県経済産業部地域企業支援課 中小企業支援グループ
TEL：017-734-9373 FAX：017-734-8107 E-mail：kigyoshien@pref.aomori.lg.jp

GX関係産業参入支援 (地域企業支援課)

グリーン成長戦略関連産業参入研修会

グリーン成長戦略関連産業への参入に関する研修会を開催（7年度は1回開催、29名参加）

令和8年度 青森県GX関連産業 参入研修会

参加無料

「うちの会社には関係ない」
と思いませんか？
GX参入の可能性を探る
～半導体関連産業と資源循環関連産業の事例から～

県内企業による脱炭素化への対応を「成長の機会」へと転換し、各企業の競争力向上を図るため、半導体関連産業への参入事例やホタテ貝殻を再利用した製品開発事例を紹介します。また、県内企業におけるGX（グリーントランスフォーメーション）関連産業への参入課題と解決の方向性について解説します。

開催日時	会場	対象
令和8年8月31日（月） 13:30～16:30	ウェディングプラザアラスカ （青森市新町1丁目11-22） 定員：70名	企業、大学、 研究機関、 支援機関等

プログラム ※Zoomによるオンライン聴講も可能です。

13:30 開会・主催者挨拶

13:35～14:25 プログラム①「半導体・AI時代に地域企業はどう動くか
～熊本事例と課題から～」
講師：金剛株式会社（熊本県） 代表取締役社長 田中 悠彦 氏

14:30～15:20 プログラム②「廃棄物を活用した新素材開発への挑戦」
講師：甲子化学工業株式会社（大阪府） 企画開発部長 南原 徹也 氏

15:30～15:50 プログラム③「県内中小企業のGX関連産業への参入課題と解決の方向性」
講師：株式会社八戸インテリジェントプラザ 常務取締役所長 松坂 洋司 氏

15:50～16:00 大学・研究機関等の研究シーズブックの紹介
説明：青森県経済産業部地域企業支援課

16:00 閉会

16:00～16:30 ネットワーキング（名刺交換）

お申込み方法 申込締切 令和8年8月25日（火）

下記「二次元コード」又は「アドレス」から申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力願います。

申込フォーム

申込フォームのアドレス
<https://forms.gle/SV81N1debWorG9s>

主催 青森県

業務委託先 (公財) 21あおもり産業総合支援センター
【お問合せ先】総合支援課（担当：葛西）
TEL:017-777-4066

脱炭素経営の推進支援（地域企業支援課）

事業用太陽光発電設備等導入支援事業費 補助金

令和7年度から令和11年度の5年間で合計90件、太陽光発電設備容量4,500キロワット、蓄電池容量4,500キロワットアワーの導入を目標としている。

<補助対象及び金額>

- (1) 太陽光発電設備：5万円（中小企業以外の場合2.5万円）
/kW 上限500万円
- (2) 蓄電池：蓄電池価格の1/3、上限530万円

AOMORI

事業用太陽光発電設備等導入支援事業費補助金

GX青森の推進を ビジネスチャンスに

公募期間 予算がなくなり次第終了/
5/11(月)～12/11(金)

県内事業者の脱炭素経営を推進するため、事業に用いる自家消費型太陽光発電設備や蓄電池の導入に要する経費の一部を補助します。

※環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金活用事業

補助金の詳細
申請書の入手はこちら



	【太陽光発電設備】 自家消費型に限定	【蓄電池】 太陽光発電設備に付帯する設備に限定
補助率	● 中小企業者の場合 太陽光発電設備の出力(※)×5万円/kW ● 中小企業者以外の場合 太陽光発電設備の出力(※)×2.5万円/kW ※太陽光パネル又はパワーコンディショナーのいずれか小さい方	(1) 設備導入に要する経費の1/3 (2) 下記の1/3 ① 蓄電池容量20kWh以下の場合 蓄電池容量×14.1万円/kWh ② 蓄電池容量20kWh超の場合 蓄電池容量×16.0万円/kWh (1)または(2)のいずれか小さい方
補助上限	500万円	530万円
対象者	・県内に本社又は事業所を有する中小企業者 ・県内に本社又は事業所を有する会社法上の会社（上記を除く）	
対象経費	工事費、設備費、業務費、事務費	
事業期間	交付決定日(公募期間中、月1回審査を行い交付決定)～令和9年2月22日(月) ※実績報告期限は、事業完了日から10日以内又は令和9年2月22日(月)のいずれか早い方	

補助金に関するお問い合わせ・提出先はこちら

青森県太陽光補助金事務局

〒039-1104
青森県八戸市大字田園水字船場道下7番2号
(NPO法人徳曜型社会創造ネットワークCROSS内)

0178-41-2400

開設期間：令和8年5月11日～令和9年2月26日
(土日祝日及び年末年始を除く)
受付時間：平日9時～17時まで

太陽光発電設備・蓄電池導入で
脱炭素経営を進めませんか

脱炭素経営の推進支援（地域企業支援課）

あおもり脱炭素経営スクール

全4回の「実践型」脱炭素スクールにより、県内企業の脱炭素経営に向けた取組を伴走支援する。（7年度はエネルギー・脱炭素政策課において「脱炭素スクール」として実施。5社参加。）

令和8年度 脱炭素経営実践企業競争力強化プログラム企画・運営業務

全4回
参加費
無料

あおもり 脱炭素経営スクール

見える化・削減・発信・共創 を
ビジネスに活かす脱炭素経営へ

2026年7月から12月にかけて全4回の脱炭素スクールを開催します。温室効果ガス排出量の算定から、削減目標・実行計画の策定、事業成長への活用、社内外への発信までを、専門家の講義・演習と個別サポートを通じて支援します。脱炭素経営を自社の強みとして活かし、企業価値向上や新たなビジネス機会の創出につなげる手法を学びます。

開催概要

会場 青森市内

対象 青森県内に本社または事業所を有する中小企業者

定員 5社

申込 6月17日(水) 開始
6月30日(火) 締切

カリキュラム

- 1 基礎理解・GHG排出量算定**
知る・測る
青森県の企業・機関等、脱炭素経営の基礎
C-Turtleを用いた、排出量算定演習
- 2 目標設定・削減計画策定**
減らす
省エネ・再エネ等の削減施策を学ぶ
卒業生講演、演習、個別レクチャー
- 3 “事業成長”のための脱炭素WS**
活かす
自社の強み・経営課題を整理
脱炭素ニーズと結びつけ、事業機会を模索
- 4 実践・宣言・共創プログラム**
発信・共創
行動宣言・削減目標の発表
大学等との対話・交流、社内外への発信

開催スケジュール（予定）

第1回	第2回	第3回	第4回
7月14日(火)	9月11日(金)	10月16日(金)	12月14日(月)
15:00-17:00			

各回とも午後の開催を予定しております

主催 青森県

事務局 東京海上日動火災保険

協力 青森みちのく銀行
東京海上スマートGX
船井総合研究所

【お問い合わせ】東京海上日動火災保険 青森支店 080-8062-0144

脱炭素経営の推進支援 (地域企業支援課)

脱炭素化・CN関連設備導入支援事業費補助金

脱炭素化と生産性の向上の両立に資する設備の導入経費の一部を補助

【補助率 2 分の 1、補助上限 5,000 千円】

(令和 7 年度交付実績：12 件、交付金額：34,266 千円)

令和 8 年度 青森県脱炭素化・カーボンニュートラル関連設備導入支援 事業費補助金のご案内

県内中小企業者のグリーン転換（GX）を推進し、企業価値や競争力の向上につなげるため、デジタル技術を活用した生産工程等の脱炭素化と生産性向上の両立に資する設備導入に要する経費の一部を補助します。

《補助率・補助上限額》

補 助 率	補助上限額
対象経費（税抜） 1 / 2 以内 の額	500 万円

《補助対象者》 県内に本社又は事業所を有する中小企業者（会社及び個人）

《補助対象事業》

デジタル技術を活用した生産工程等の脱炭素化と生産性向上の両立に資する設備を導入する取組であって、次の①～④全ての要件を満たす事業

- ① 県が実施する「中小企業等グリーン転換推進事業」において GX 推進アドバイザーが行う GX 経営戦略の策定支援、省エネ最適化診断、省エネお助け隊の診断、省エネ診断拡充事業等のいずれかを受けて実施する取組であること
- ② 事業所等の付加価値額[※]の向上に資する取組であること
※付加価値額は、営業利益、人件費及び減価償却費を合算したもの
- ③ 事業所等の炭素生産性（エネルギー起源二酸化炭素排出量当たりの付加価値額）の向上に資する取組であること
- ④ 事業の成果を県内中小企業者に波及させるために事業成果の公表に同意すること

～取組イメージ～

- ・工場の主要機械装置をエネルギー効率の良い最新の機械装置へ更新し、機械装置のネットワーク化を図り、エネルギー消費量の削減とIoTによる生産効率を向上させる取組
- ・高効率ボイラーやヒートポンプなどの高効率機器や省エネ機器へ更新することで、最適なエネルギーマネジメントを実現させ運用効率を最適化する取組 等

《補助対象経費》

- ・機械装置・システム構築費
- ・専門家経費 ※ 詳しくは裏面参照

《事業実施期間》

交付決定日から
令和 9 年 2 月 26 日（金）まで

《申込方法・期限》

令和 8 年 8 月 21 日（金）【必着】までに公募要領に記載されている提出書類一式（申込書 第 1 号様式・別紙 1・2・3 及び関係書類）を下記メール宛に送付してください。

《申込書の提出・問合せ先》



一般社団法人青森県工業会 「GX推進事業担当」
〒030-0801 青森市新町二丁目8-26 県火災あもりビル5階
メール：system@aia-aomori.or.jp
TEL:017-718-5399 FAX:017-723-1243



補助金の詳細・申込書様式等はこちらから⇒ <https://www.aia-aomori.or.jp/3014.html>